

FOR SMALL BUSINESS OWNERS

経営者のための 業務改善チェックリスト

「忙しいのに、なぜか利益が残らない」

「やるが多すぎて、本業に集中できない」

その原因は、あなたの頑張り不足ではありません。

仕組みのどこかに、詰まりがあるだけです。

全24問のチェックで、いま手をつけるべき場所が見つかります。

✓ 所要時間 約5分 / チェックを入れるだけ

6

カテゴリー

24

チェック項目

5

分で完了

3

段階で判定

あてはまるものにチェックを入れてください

直感で構いません。「どちらとも言えない」ものは、チェックを入れずに進めてください。

1 時間の使い方

社長の時間は最大の資源です

- ☐ 自分がやったほうが早いので、つい引き受けてしまう業務がある
- ☐ 1日の終わりに「今日は何をしたんだろう」と思うことがある
- ☐ 本来やるべき経営の仕事より、目の前の作業に追われている
- ☐ 休みの日にも仕事の連絡や作業が入り込んでいる

2 お金の流れ

利益が残る仕組みになっているか

- ☐ 売上は把握しているが、商品・サービス別の利益までは見えていない
- ☐ 資金繰りの見通しを、月単位で把握できていない
- ☐ 値決めの根拠が、他社の価格や過去の慣習になっている
- ☐ 「忙しいのに利益が残らない」と感じることもある

3 業務のムダ・重複

同じことを二度やっていないか

- ☐ 同じ情報を、複数の場所（紙・Excel・システム）に入力している
- ☐ 手書き・FAX・電話でのやりとりが、今も日常的に残っている
- ☐ 毎月、同じ書類を同じ手順で手作業で作っている
- ☐ 「昔からこうしている」という理由で続いている作業がある

4 属人化

その人が休んだら止まりませんか

- ☐ 特定の人しかできない業務がある（自分自身も含めて）
- ☐ 業務の手順書やマニュアルが整備されていない
- ☐ 新しい人が入っても、教えるのに時間がかかりすぎる
- ☐ 担当者が辞めたら回らなくなる業務が思い浮かぶ

続けてチェックしてください

5 情報とデータ

勘ではなく数字で判断できるか

- ☐ 必要な数字を出すのに、毎回手間と時間がかかる
- ☐ データはあるが、活用できていないと感じる
- ☐ 意思決定を、経験と勘に頼っている場面が多い
- ☐ 「あの数字どうなってる？」に、その場で答えられないことがある

6 ITツール・DX

道具に振り回されていないか

- ☐ 導入したが、ほとんど使われていないツールやシステムがある
- ☐ ツールが多すぎて、どれを使えばいいか分からない
- ☐ システムに業務を合わせていて、現場に無理が出ている
- ☐ DXに取り組みたいが、何から始めればよいか分からない

チェックの数で、いまの状態がわかります

チェックが入った数を合計してください。多いほど悪いということではなく、**改善の余地＝これから楽になれる幅**が大きいということです。

0-6 良好 — 仕組みが回っています

個

大きな詰まりはありません。今の状態を維持しながら、伸ばしたい部分に時間を使えるフェーズです。

7-14 要注意 — どこかに詰まりがあります

個

成長とともに歪みが出はじめている状態です。チェックが集中したカテゴリーから手をつけると、効果が早く出ます。

15 改善の好機 — 伸びしろが大きい状態です

個以上

裏を返せば、改善による効果が最も大きく出る状態。ひとりで抱えず、外の視点を入れることをおすすめします。

チェックが終わったら、次の3ステップへ

全部をいっぺんに変えようとする、必ず途中で止まります。小さく始めるのがコツです。

1 チェックが一番多かったカテゴリーを1つだけ選ぶ

すべてに手をつけないでください。一番詰まっている場所を1つ選ぶ。それが最も効果の大きい出発点になります。

2 「なくす・へらす・まかせる」の順で考える

効率化を考える前に、まず「そもそもこの作業は必要か？」を問う。なくせないなら減らす、減らせないなら人やツールに任せる。この順番が鉄則です。

3 2週間で終わる小さな改善から始める

大きな計画より、小さな成功体験。「楽になった」を早く実感できると、次の改善が自然と続きます。

よくあるつまずき

！ いきなりツールから入ってしまう

「DX＝システム導入」ではありません。業務の流れを整理しないままツールを入れると、現場が疲れるだけで終わります。順番は必ず「業務の整理」→「ツール」です。

！ 社長ひとりで進めようとする

現場のやり方には必ず理由があります。既存のやり方に敬意を払い、現場を巻き込みながら進めた改善だけが定着します。

ひとりで悩む時間が、一番のコストです。

「どこから手をつければいいかわからない」——そんな状態のご相談こそ歓迎です。
現状をお聞きして、優先順位を一緒に整理します。**初回相談・お見積もりは無料**です。